

## ★ 小児の主な感染症 ★

病名	潜伏期間	症状	感染期間(経路)	登園停止期間
麻疹 (はしか)	10~12日	発熱、咳、くしゃみ、鼻水、目の充血、目やに、口腔粘膜に白い斑点→解熱→再び高熱が出て赤い発疹(耳の後ろから顔、全身へ)	発疹が出る5日前~ 発疹後5日	解熱後3日を 経過するまで
風疹 (三日ばしか)	14~21日	軽度の発熱と同時に赤色の発疹(全身:3~5日で消える)、リンパ節が腫れて押すと痛い。	発疹が出る7日前~ 発疹後7日	発疹が消える まで
水痘 (みずぼうそう)	11~20日	発疹とほぼ同時に発熱する(発熱しないこともある)はじめ腹、背中に赤い小発疹ができ、顔、頭、全身に広がる。発疹は、水疱になり、1~2日で乾燥しかさぶたをつくる。	発疹が出る1日前~ 水疱の期間。全てが かさぶたになれば感 染しない。	すべての発疹が かさぶたになる まで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	14~24日	片側の耳下腺が腫れて気付く。2~3日たつと左右両側の耳下腺が腫れて、痛みを伴う。時に頭痛、発熱を伴う。	症状が出る6日前~ 症状が出た9日後	耳下腺の腫れ が消えるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	5~6日	高熱、のどの痛みと赤み、頭痛、食欲不振、目の充血、目やに、涙が多くなる	潜伏期の後半~ 症状が消えるまで	主要症状が消え てから2日経過す るまで
インフルエンザ	1~2日	高熱、寒気、頭痛、咳、鼻水、のどの痛み、全身のだるさ、関節の痛み、食欲不振	症状出現後3~4日 間	解熱後2日を 経過するまで
百日咳	6~15日	はじめに、鼻水、咳、くしゃみなどの風邪症状が数日から2週間続く。咳が次第にひどくなり、真っ赤にして激しく咳き込む。その後息を吸い込む時にヒューと特有の音がする。咳込みは夜間に多い。	初期の風邪症状が出 てから4週間	特有の咳が消え るまで
流行性角結膜炎 (はやり目)	1週間 以上	目の充血、目やに、目の異物感(ゴロゴロする感じ)、まぶたの腫れ	不詳 (2~4週間程度)	伝染の恐れが なくなるまで
手足口病	3~6日	発熱、1~2日の間に口腔内に痛みを伴う水泡ができる。手・足・尻にも水疱ができる。	不詳、 急性期が感染期間	主要症状消失後、 医師の指示により 登園可能な場合 あり
ヘルパンギーナ	2~7日	突然の高熱、のどの痛み、のどに赤い発疹ができ、次に水疱となり、間もなく潰瘍となる。	急性期から3~4週間 は、糞便中に存在	あり
流行性嘔吐下痢症	1~3日	下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、時に脱水症状	症状出現~消失まで	伝染の恐れがなく なるまで
溶連菌感染症	一般に 2~4日 猩紅熱は 1~7日	扁桃炎、皮膚感染症、猩紅熱などが主な病気。猩紅熱では、発熱、扁桃炎などとともに舌が莓状に赤く腫れ、全身に赤色の発疹ができ、やがて、皮膚がむける。	10日前後。早期に抗 生剤治療すれば、24 時間以内	伝染の恐れがなく なるまで
伝染性紅斑 (りんご病)	17~18日	風邪症状に続き、頬と腕、足に網目状の赤い発疹が出現する。一旦消失しても再発することがある。	発疹出現する7~10 日前から発疹出現す るまで	伝染の恐れがなく なるまで
伝染性軟属腫 (水いぼ)	不詳	いぼがある以外の症状はほとんどない。いぼの白い液は、ウイルスが存在し感染源となる。	(いぼの液に接触し感 染する)	出席停止必要なし プール等配慮
伝染性膿痂疹 (とびひ)	2~10日	顔や手足に米粒くらいから豆粒くらいの赤色発疹ができ、水疱やかさぶたをつくる。	(接触で感染し、かさ ぶたにも感染性は残 る)	出席停止必要なし プール等配慮
アタマジラミ	気付くまで 1ヶ月程度	頭部のかゆみ。アタマジラミが少数の場合は症状なし。	(接触で感染する。共 用のオルなどから感 染することが多い)	出席停止必要なし プール等配慮

医師の許可が出てから登園可